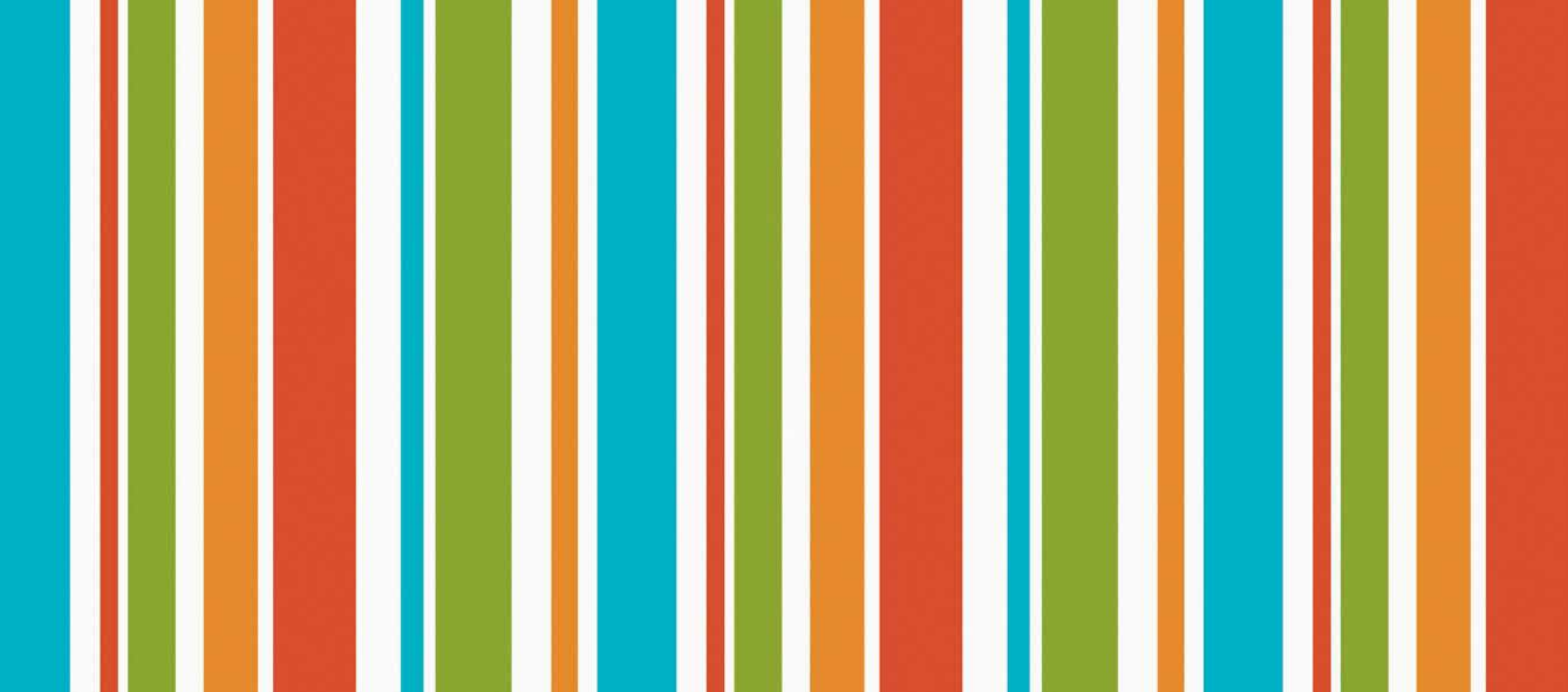


キュートくんが あそぶ



BERG JUDIT – AGÓCS ÍRISZ



BERG JUDIT – AGÓCS ÍRISZ

キュートくんが あそぶ



「こうえん行こう！」





「今日こうえんは自転車で行くんだ!」と、朝、キュートくんが
のほほんくんに言います。
「僕が一番早くなるよ!」





彼らは出発します。キュートくんは本当にはやー
い!あまりにもはやくてトラちゃんや、



近所のおじさん、





ゴミ収集車、



そして本物のバイクにも勝ちます。





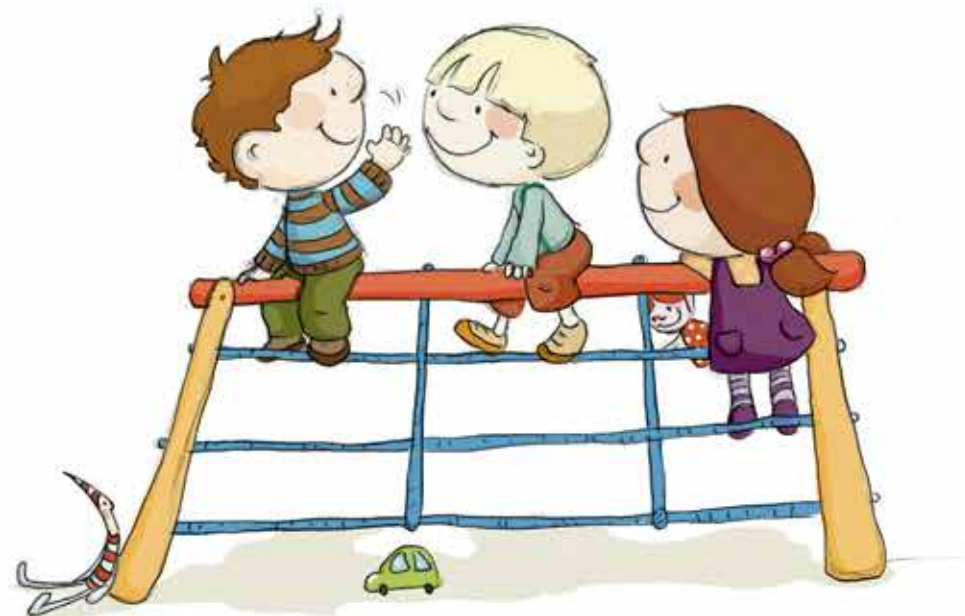
「僕が一番速いんだ!」と叫びます。
キュートくんは、どんどん走らせて、
もっと速く、もっと速く。
のほほんくんはほとんど持ちこたえることができません。



こうえんには、キュートくんのお友達がもうすでに来ています。
シャーリちゃんと、ミシくん。キュートくんが
「今日は僕が一番はやいんだよ!」と友達にも自慢しています。



まずは滑り台に登ります。
そして滑り台をシューっと
すべってきます。



次はジャングルジム。
「ここは僕らの電車なんだぞ!だれも捕まえられ
ないよ!」とミシくんが叫びます。





その後、子供たちはお城を作ります。
「このお城が一番はやく建てられるよね」と、
子供たちが笑っています。

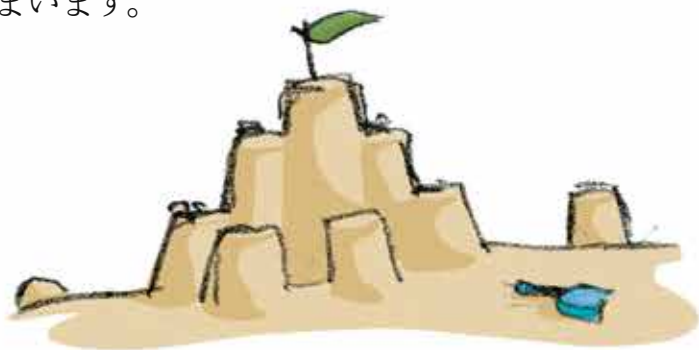


のほほんくんは葉っぱから
はたを作ります。





お城ができるころには、みんな
おなかを空かせてしまいます。



シャーリちゃんとはっさにキュートくんのキックバイクに乗って、
「乗っていくよ!」、と。





キュートくんが気づきます。
「駄目だよ!僕のキックバイクなんだから!」
「大丈夫!大事にするから。」と、
シャーリちゃんが約束します。



「だから、嫌だって。もう返してよ。僕が載りたいなんだから。」「キュートくん、やさしくするのよ!」と、のほほんくんが言います。





しかし、のほほんくんがなんて
言っても、無駄。
キュートくんがキックバイクの
上でリンゴを食べ始めます。



今度は馬に乗ってみく
なります。
そして馬に飛び乗って、
駆け出します。





シャーリちゃんとミシくんは一緒に遊んでいます。
キュートくんは退屈しています。
「のほほんくん、一緒にあそぼう!」と
キュートくんが言います。
しかしのほほんくんは首を横に振ります。
「いや、遊びたくないの。」



「なんでだよ?!だって、私が一番はやいんだもん。」
「でもシャーリちゃんにやさしくないんですよ!」とのほほんくんが言います。





そうしたら、キュートくんがお友達をみてきます。
もう彼らとも遊べないのでしょうか。
しかし、ミシくんはすぐにボールを投げわたしてくれます。



シャーリちゃんはキックバイクに乗り
なおします。
キュートくんが手を振ります。





そのあと、三人で仲良くスイング。
「空へあがってゆく。空へあがってゆくんだ。」と一緒に叫んでいます。
「確かにキュートくんが一番はやいもんだね。」とのほほんくんが喜んでいます。



「かくれんぼ」





「お庭に出て、かくれんぼしよう!」とキュートくんが叫びます。
「ミシくんも呼ぼう!」。
「ミシくんは病気なんだよ。来れないと思う。」、とのほほんくんは言います。

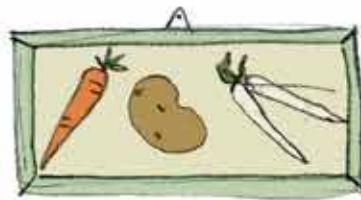


「でもミシくんがいなきゃだめなんだよ。二人じゃ、いや!」とキュートくんが嘆きます。

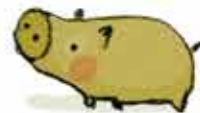




プルルルル プルルルル…
「うわぁ 何なんだ？電話がなっ
ているぞ。」
ぴょんぴょんと、のほほんくん
は飛び上がります。
「きっと私なんだ。」



「もしもし、のほほんくんだよ！
ニンジン、君か？
どうしたんだ？
お庭に隠れているって
ジャガイモとカブと一緒に？
そして、ほかのみんなもって？
うん、もちろん、
見つけてあげるのよ！」



「さあ、キュートくん、靴を履いてって。
おやさいたちを探さなきゃ。」

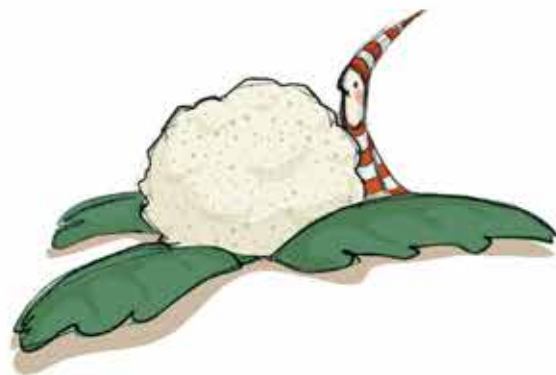


キュートくんはお庭に駆けだします。
周りをただちらっと見回してみるだけで、大きな赤いトマトを見つけだします。

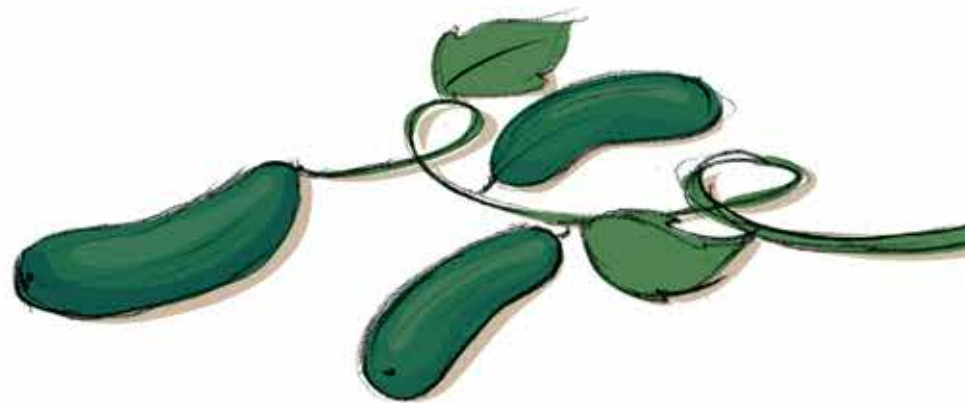




一歩も二歩も前に出ます。
すごいな!レタスだ!そしてそ
の隣は立派なカリフラワー
なんだ!



やった!みんな、見つかっていますよ。つるの中にはデカい
かぼちゃが隠れています。そして、そのちっちゃい緑のは誰だ
い?うん、わかった!もちろん、きゅうりだよ!



「他のみんなは、どこにある
んだろう？
なしの木の下とか？」
「いやいや。みんなここにあるのよ！」
と、のほほんくんが言います。

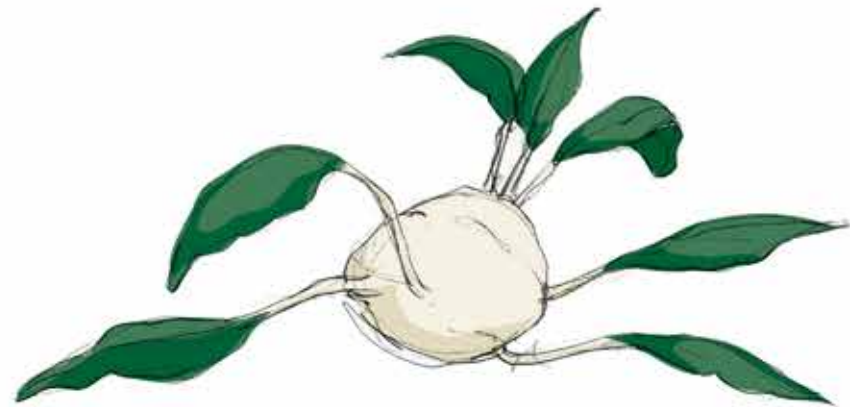


キュートくんがふと地面を見下ろします。
「のほほんくん、みてみ！これわかるんだよ。これがパセリだ！」

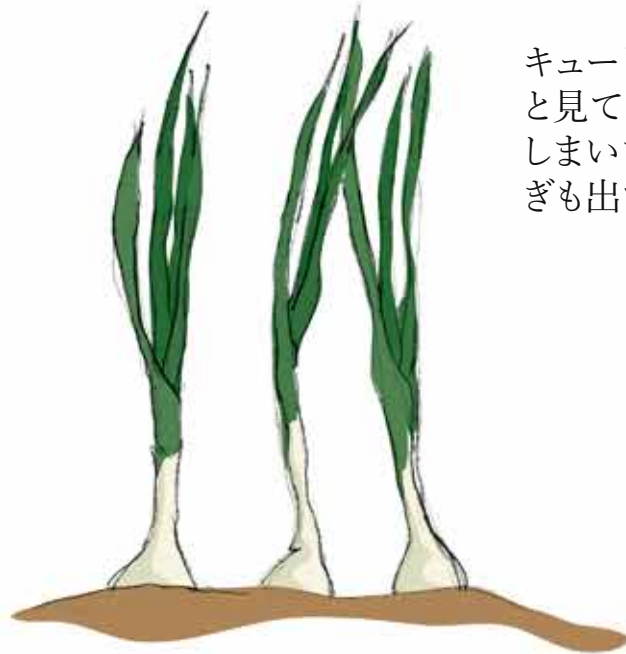




「すごい!地面の下にも隠れているんだ?!」と、キュートくんが不思議に思います。

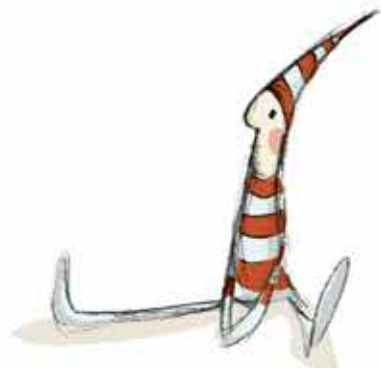


キュートくんは植物の根元をじっくりと見てみると、ニンジンも見つけてしまいます。ついにコールラビと玉ねぎも出てきます。





「よーし、おしまい!みんな見つかってるんだ!」とキュートくんが満足げに言います。
しかしのほほんくんは首を横に振ります。



プルルルル、プルルル…
「もしもし、のほほんくんだよ!うん、ここにいるんだよ、グリーンピースさん。うん、わかった。すぐいきまーす。バイバーイ!」





キュートくんは大笑いをします。
「グリーンピースは見つかっ
ているぞ！
そして、これはまめでしょ！」



のほほんくんはキュートくんの耳元
で何かささやきます。
キュートくんは笑い出して、そして小
さなシャベルをとり、そして走ってきます。
「本当に根っこの間に隠れている
のでしょうか。」





「ジャガイモも見つかったんだよ!」とキュートくんがうれしく飛び跳ねます。
「彼は一番ずるいんだよね。地面の下に隠れてって。」



「全部そろったね。」とのほほんくんが言います。「バスケットは詰まっているね。あのね、キュートくん。ミシくんにももっていったら、どうだい?こんなにおいしそうなお野菜を食べると、きっと元気が出るんだからね。」

